

歓迎行事フォト 6月23日 熱烈歓迎! 中国開封市と友好交流

●表敬訪問

開封市友好代表団が聴泉閣かめやに、町長、町議会議員、商工会議所会頭、観光協会長、国際交流協会長らを表敬訪問に訪れました。なごやかに会談の後、最後に全員の写真撮影が行われました。



王副市長から青木町長に記念の像が贈呈

●水運儀象台見学 ~時計づくりを体験~



園児と一緒に記念撮影

●第五保育園を見学

園児も大歓迎



●歓迎レセプション

北小児童が合唱で歓迎



全員で肩を組み歌を合唱

●町図書館を見学



●木落し坂を見学



友好交流のきっかけとなった水運儀象台を見学する一行

多彩な催しで歓迎! 交流を深める

6月23日(水)、開封市友好代表団が「聴泉閣かめや」に、青木町長、山田町議会議員を表敬訪問に訪れ、両市町の友好交流の末長い発展を誓い合いました。その後水運儀象台を見学、儀象堂では時計づくりを体験。また第五保育園では大勢の園児の手旗に迎えられ、園児たちとの記念撮影も行われました。町立図書館を視察後は諏訪湖畔を散策、最後に御柱祭の余韻を残す木落し坂と秋宮境内を見学。夕方からはホテル「山王閣」で下諏訪国際交流協会の運営企画による歓迎レセプションが行われ、町・議会関係者はじめ応募による一般町民を含め総数51人が出席し盛大に行われました。アトラクションでは北小学校児童28名による合唱で歓迎、木遣りの披露などが行われ賑やかでなごやかな交流が行われました。

王副市長あいさつ(歓迎レセプション)
湖と山に囲まれた下諏訪町は素晴らしい環境で、人類と自然の共生の面で学ぶべきところがたくさんある。また、友好のシンボルである儀象堂での時計づくり体験等を通じて、歴史を大事にする気持ちが感じられた。経済、文化、体育等の分野での交流を積極的に進め一層の相互理解を深めたい。開封市への訪問をお待ちすると共に我々の友好交流が末長く続くようお祈りします。



あいさつをする王副市長



中国開封市友好代表団

| | | |
|--------|-----|---------------|
| 団長 | 王学傑 | 開封市人民政府副市長 |
| 団員 | 劉震 | 開封市旅遊局局長 |
| 〃 | 張暉 | 開封市人民防空弁公室主任 |
| 〃 | 李鳳剛 | 開封市環境保護局局長 |
| 〃 | 喬利春 | 開封市教育局副局長 |
| 〃(兼通訳) | 韓昇良 | 開封市外事僑務弁公室副主任 |

夢の都 開封

中華人民共和国河南省開封市は、河南省の省都鄭州市から東へ約七十km、黄河の南岸に位置する総人口(都市人口)約八十万人の都市です。西安、北京、洛陽などと並ぶ中国の七大古都として有名で、北宋時代に政治、経済、文化の中心地として繁栄した。現在は、工業製品・農産物等の集散地として発展、経済技術開発特区を發足させハイテク産業の振興に力をいれ、めざましい発展を遂げている。

交流のあしあと

開封市と下諏訪町との交流は、中国北宋時代後期の元祐年間(一〇八六年)に首都開封に建設され、後破壊された水駆動による大型天文時計装置「水運儀象台」を平成九年に、諏訪湖時の科学館「儀象堂」に完全復元し、オープンしたことを期に始まったものです。

この「水運儀象台」建設にあたり平成八年に町関係者が初めて開封市を訪問しました。その後、平成十一年に下諏訪町代表団が開封市を訪問、平成十二年、十三年には、友好都市(姉妹都市)締結をしている埼玉県戸田市を通じて初めて開封市友好訪問団が下諏訪町を訪れ交流を深めてきました。こうした中で更に一層の友好関係の構築と相互交流を促進する機運が高まり、平成十三年に町代表

団が開封市を訪問し「友好交流議定書」の仮調印、翌十四年には町が開封市政府代表団を招待し、同議定書の本調印式を行うなど着実に交流の輪を広げてきました。その後昨年十月に町長を団長とする町の友好代表団八名が開封市を訪問。今回の開封市の訪問は十六十七年の来町を含め通算六度目の町への訪問となりました。今後も両市町が平等互恵の精神に基づくさらなる友好交流を進めていくことを確認しました。



開封市菊祭り



清明上河園